

# 第 1 章

## 羽幌町について

- 1 羽幌町の概要
- 2 上位関連計画

# 1 羽幌町の概要

将来都市像や基本方針の設定を行うにあたり、羽幌町の概要は以下のとおりです。

## ■位置・気候

羽幌町は、北海道北西部留萌管内のほぼ中央に位置し、南は苫前町、北は初山別村及び遠別町、東は幌加内町に接しています。東は天塩山系ピッシリ山を背後として、西は日本海に面し、沖合い24kmには暑寒別天売焼尻国定公園に指定されている天売島、焼尻島があります。主要都市までの距離は、札幌市へ約200km、支庁所在地である留萌市へ約50kmとなっています。

気候は、年間を通じて風の強い日が多く、夏季は温暖で春から初夏にかけて乾燥し、晩夏から冬にかけては多雨、そして冬季は湿潤寒冷で積雪が多くなりますが、対馬暖流の影響で内陸部よりは比較的温暖になっています。



## ■沿革

明治にはじまる羽幌の開拓の歴史は、明治27年の羽幌村の誕生により本格的なものとなりました。大正10年には町制が施行されるなど、農業、漁業などの第一次産業を中心として発展し、昭和に入ってから国鉄羽幌線の開通、炭鉱の採炭開始、天売村、焼尻村との合併、港湾整備、名羽線の着工というように更なる発展の道を歩んできました。

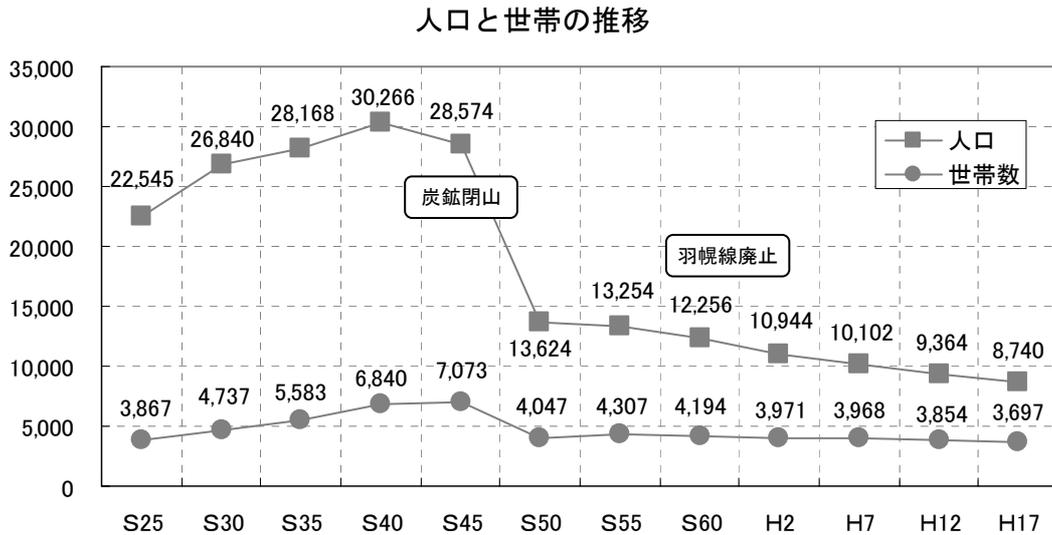
しかし、社会情勢の変化のため、昭和45年に基幹産業であった炭鉱の閉山、昭和62年には国鉄羽幌線の廃止などの影響によって、一時は3万人を超える規模であった人口も減少し、現在は9千人を下回る状況になっています。

現在は、観光にも力を入れたまちづくりが進められ、町の活性化に向けた取り組みが行われています。

## ■人口と世帯

羽幌町の人口は、昭和40年頃までは増加が続いていましたが、その後減少に転じ、現在も減少傾向が続いています。

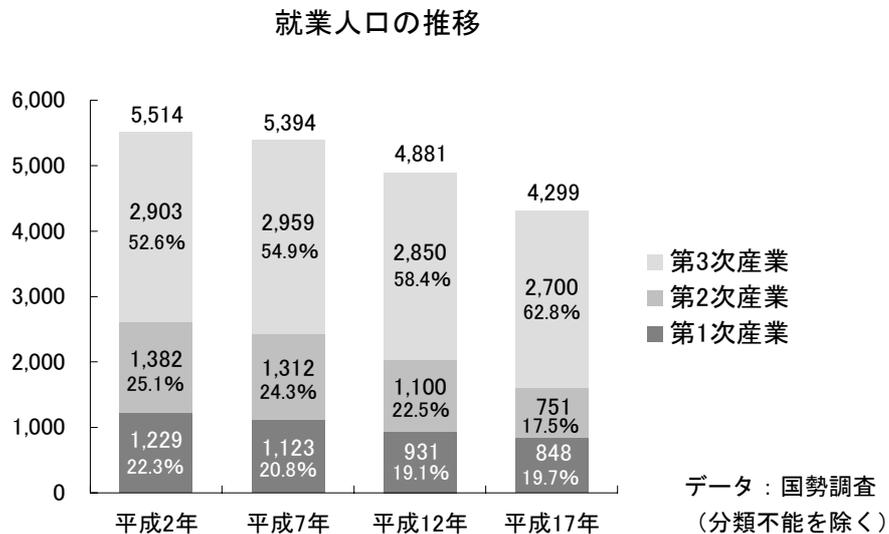
世帯数は、横ばいが続き、1世帯当たりの平均人員は、平成7年の2.55人/世帯から平成17年には2.36人/世帯となっており、単身世帯の増加や核家族化が進行しています。



データ：国勢調査

## ■産業

農業は、河川流域に広がる肥沃な土地に、水稻を中心としてグリーンアスパラやねばりながいもなどの作付けが行われています。また、漁業は、資源豊かな日本海においてホタテや日本一の漁獲量を誇る甘エビなどが獲れます。しかし、羽幌町の基幹産業である両産業で、高齢化や後継者不足により就業者の人口が減少しつつあります。



## ■観光

日本で唯一繁殖するオロロン鳥をはじめとして、約100万羽の海鳥が飛来する景勝豊かな天売島、オンコの低木林と数種の自然林が混生する森が形成され、野生の花々が咲く焼尻島は、ともに人と自然が共生する島として道内外の観光客で賑わう観光地となっています。

また、市街地区においては、南国ムードを演出した「サンセットビーチ」「はぼろ温泉サンセットプラザ」を核として「はぼろバラ園」や「北海道海鳥センター」が併設されている「道の駅ほっと♡はぼろ」、1万株の花しょうぶが植栽される「朝日公園」などが主な観光スポットとして挙げられます。



はぼろ温泉サンセットプラザ



はぼろバラ園と北海道海鳥センター



朝日公園



サンセットビーチ

## ■災害

羽幌町の災害は、昭和以降を見ると河川の氾濫などによる水害が多く、火災は昭和初期に大火があったものの、近年は大規模な火災は発生していません。地震による災害も少ない地域ですが、平成16年には留萌支庁南部を震源とするマグニチュード6.1の地震により、羽幌町においては震度5弱の揺れが発生しています。

## 2 上位関連計画

本マスタープランと特に関連のある計画については以下のとおりです。

### ■羽幌町総合振興計画（ほっとプラン21）

羽幌町の最上位計画であり、21世紀における羽幌町の将来像と町民の生活像を明らかにし「町民が主体となったまちづくり」を推進する指針として、長期的展望に立った方向性を示しています。

#### 羽幌町総合振興計画

自然資源の保全、保健・医療・福祉、産業、生活環境など、羽幌町の全般に関わる基本計画。

計 画 期 間	平成14年度～23年度の10年間
羽幌町の将来像	「心と心をつなぐハートコミュニケーションはぼろ」
まちづくりの目標	地域の自然が育む豊かなまち 誰もが居場所と生きがいを持って暮らせるまち 安心して魅力的な田舎暮らしができるまち

### ■羽幌都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

北海道が各都市の人口・産業の動向を踏まえて定める計画であり、都市の将来像を示し、個々の都市計画を位置付ける役割を持つため、羽幌町が定める本マスタープランと密接な関係があり、整合を図る必要があります。

#### 羽幌都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

土地利用や都市施設の整備に関する主要な都市計画決定の方針を定めている。

目 標 年 次	都市づくりの理念・将来の都市構造については平成32年 土地利用、都市施設等の決定の方針については平成22年
都市づくりの理念	羽幌町総合振興計画の将来像、目標と同じ

## ■羽幌町中心市街地活性化基本計画

平成10年に制定された中心市街地活性化法に基づき、羽幌町の中心市街地54.7haの整備改善、商業等の活性化の一体的な推進を目指して平成14年に策定されました。平成18年には法改正が行われていますが、本マスタープランにおいては中心市街地のあり方などの基本的な考え方を引き継いでいます。

### 羽幌町中心市街地活性化基本計画

重点整備地区内計画、市街地の整備改善のための事業、商業等の活性化のための事業等を定めている。

計 画 期 間	平成14年度～23年度の10年間
基 本 理 念	心つながるコミュニティネットワーク
目 標	安心・快適な中心市街地のための環境整備 気のきいたサービスを誇る商業環境の整備 利便性が享受できる生活サービス、生活環境の充実